

## 全国の県議会における県民との意見交換会の取組概要

### 長野県議会「こんにちは県議会です」

#### 1. 開催目的

県政の諸課題について意見交換・懇談を行い、県民意見の把握に努めることにより、県民に身近で開かれた県議会を目指すとともに、県民意見を県政に反映させる。

#### 2. 開催内容

	趣旨	参加対象	開催回数・開催地
ふれあい ミーティング	地域の諸課題について意見交換を行い、民意の吸収に努める。	県民、自治体関係者	10 広域圏毎、 年 1 回 (当初は年 2～3 回)
政 策 タウンテーブル	特定の県政課題について意見交換を行い、問題解決に努める。	市町村長、市町村議会議員、関係団体等	4 ブロック毎、 年 1 回

<参考> 長野県の広域圏

ブロック	広域圏	ブロック	広域圏
東 信	佐久、上小	中 信	木曾、松本、大北
北 信	北信、長野	南 信	諏訪、上伊那、飯伊

#### 3. 開催方法

	実施内容(テーマ)	進行	時間
ふれあい ミーティング	正副議長と開催地区選出議員の協議によりテーマを決定。	テーマに関する取組を地元議員が選定する団体等から意見発表。	概ね 2 時間
政 策 タウンテーブル	正副議長と各会派 2 名の協議により決定。		概ね 2 時間

#### 4. 主 催

実施要領は議会運営委員会で決定。(実質的な主催は副議長)

#### 5. 参加議員

- ・ 正副議長 - 公務 (議会活動)
- ・ 議員 - 議員活動 費用弁償の対象外

#### 6. 寄せられた意見・提言の取扱い

- ・ 提案された意見について、個別回答はしていない。
- ・ 各議員、各会派が一般質問や委員会での質疑の参考としている。

## 7. 実績

### (1) ふれあいミーティング

年度	回数	参加者数	テーマ(概要)
15	3	約 240 人	伝統文化と地域おこし、商工業振興、女性とまちおこし
16	2	約 380 人	観光振興、男女共同参画
17	2	約 320 人	高校改革
18	1	約 70 人	地域産業振興
19	1	192 人	地域活性化
20	1	228 人	地域活性化
21	1	198 人	地域づくり
22	1	109 人	地域環境の再生

### (2) 政策タウンテーブル

年度	回数	参加者数	テーマ(概要)
19	1	110 人	観光振興、産業廃棄物
20	1	151 人	地域産業振興
21	1	115 人	観光振興
22			H23.1 実施予定

平日の昼間に開催

## 8. 成果

ふれあい ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見発表を行う個人や団体は、その活動を議会や参加者に訴える良い機会と捉えられている。</li> <li>当日、参加した県民からの意見も多く、直接対話の場として好意的に受け止められている。</li> </ul>
政策 タウンテーブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会と開催地域の市町村長が一堂に会して意見交換を行う、貴重な場となっている。</li> </ul>

## 9. 課題

ふれあい ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>執行機関でないため要望への回答が難しい。陳情の場となってしまう。</li> <li>会場確保、意見発表者との調整、開催通知等の事務負担が大きい。</li> <li>参加者の確保が課題であり、開催地域にかかる行政職員の参加を依頼することもある。</li> </ul>
政策 タウンテーブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいミーティングと同様に事務負担が大きい。</li> <li>出席者が先に決定されるため、テーマに関係する常任委員会委員が出席することは少ない。</li> </ul>

## 10. 今後の展望

- ふれあいミーティング及び政策タウンテーブルともに、県内を一巡したこともあり、今後の在り方を議会運営委員会で検討中であるが、県民意見の把握に重点を置く方向。

## 岩手県議会「本音で語ろう県議会」

### 1. 開催目的

多様化する県民の意向を的確に把握し、県政に反映させるため、県民と議会との意見交換の場を設置。(岩手県議会基本条例第5条)

### 2. 開催内容

4 広域振興圏ごとに、次の内容について報告し、県民からの議会に対する意見・提言をうかがう場とする。参加対象者はいずれも参加を希望する県民。

4月上旬 予算特別委員会の審議内容を委員長又は副委員長が報告。

11月下旬 決算特別委員会の審議内容を委員長又は副委員長が報告。

上記事項については、参加者の質問等の足がかりとしている。

<参考> 岩手県の広域圏

広域振興圏	市町村
北	二戸市、一戸町、洋野町、軽米町、九戸村、久慈市、野田村、普代村
中	八幡平市、葛巻町、岩手町、盛岡市、雫石町、滝沢村、矢巾町、紫波町
南	花巻市、北上市、西和賀町、遠野市、奥州市、金ヶ崎町、一関市、平泉町、藤沢町
沿岸	田野畑村、岩泉町、川井村、山田町、宮古市、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町

開催時間は2時間とし、平日の夜間に開催。

### 3. 開催方法

広聴広報会議の構成員が座長を務めて、会議を進行する。

### 4. 主催

広聴広報会議(3会派、計6人)

### 5. 参加議員

予算・決算特別委員会の委員長又は副委員長

各常任委員会の委員1人程度(開催地の選出議員でないこと) 5常任委員会

広聴広報会議の構成員1人(開催地の選出議員でないこと)

なお、出席議員の調整は、広聴広報会議において行う。全員、議員派遣による。

地元選出議員が入ると要望・陳情の場になる恐れがあるため傍聴のみ。

議長が出席すると、質問・意見に対する回答を議会を代表して行うと受け取られる懸念があるため、出席しないこととしている。

### 6. 寄せられた意見・提言の取扱い

・寄せられた意見・提言については、広聴広報会議において整理し、速やかに議長に報告するとともに、全議員に配付し、今後の審議に生かす。

・寄せられた意見・提言のうち、議会事務局の所掌事務について、別途議会事務局において対応を検討する。

## 7. 広 報

- ・市町村広報への掲載依頼（県議会広報の時期が合わないため）
- ・関係団体へのダイレクトメール（約 110 団体へ郵送）
- ・新聞広告（主要 6 紙 2 段）
- ・テレビCM（15 秒、4 局、126 本）
- ・その他（テレビ、ラジオ、県議会ホームページ、チラシ、携帯電話メール）

## 8. 実 績

年度	開催日・開催地・参加人数
21	11 月 - 4 箇所（盛岡市 24 人、奥州市 22 人、釜石市 14 人、久慈市 32 人）
22	4 月 - 4 箇所（八幡平市 25 人、北上市 17 人、宮古市 13 人、二戸市 15 人） 11 月 - 4 箇所（矢巾町、一関市、大船渡市、洋野町）

## 9. 成 果

- ・参加者アンケート結果では、全体の約 3/4 が「よく分かった」「大体分かった」と回答。
- ・同じく、全体の約 9 割が意見交換会について、「有意義」「どちらかというと有意義」と回答。

## 10. 課 題

- ・意見交換会の認知度がまだ低いこともあり、参加者が少ない。
- ・広報、準備・調整、記録等の事務負担が大きい。
- ・開催場所や回数の増加を求める意見があるが、予算や事務対応において課題がある。
- ・事業の執行に関する質問が多く出されるが、議会としてはその場で回答できない。
- ・大声で罵声を浴びせるなど、意見交換を妨害する人の参加がある。

## 11. 今後の展望

- ・広報を充実させ参加者の増加を図る。一方、適正規模については要検討。
- ・別方法（会場ごとにテーマ設定して意見交換するなど）するか検討が必要。